

第 1 回説明会 (H23.4.9)

第 1 回目の市教委による説明会は平成23年 4 月 9 日夜に行われました。説明会当日及びその前後の経緯においては、校長先生はもちろん、市教委の認識があまりにも甘いことが分かります。もしくは意図的に「**大げさにしたくない**」「**責任を問われたい**」対応をしたのかもしれませんが。いずれにしても問題です。

①学校管理下で多くの児童・教職員が犠牲になったにも関わらず、何の説明もないまま、3月29日に生存児童の登校式を行い、校長先生は「お友達少なくなっちゃったね」と呼びかけた。多くの遺族は 報道でそのことを知った。

②当初、**説明会の予定はなかった**。遺族等から批判を受け、4月9日に開催。

③計画書(資料Ⅰ)に「遅くとも19:45までには閉会」とあるが、1時間程度で終わらせる予定だったということか？
報道に対しても「内容説明はない」という記載がある。

④現場で唯一助かったA教諭が出席し、当日の様子を述べたが、「地震で木がバキバキ倒れた」「自分も波に飲まれた」等、矛盾の多い説明だった。(地震による倒木は1本もない、A教諭は波をかぶっていない)

⑤報告書(資料Ⅱ)はわずかA4の用紙1枚。
表面的な事項を箇条書きにただけ。当日の様子とはほど遠い内容になっている。

⑥遺族から「木は1本も倒れていない」という指摘があった。そのためか報告書には「倒木の危険があるため」と書いてある。

⑥市教委は、この説明会の議事録を作らなかった。もちろん**録画、録音もしていない。報道にも非公開**で、終了後の会見等もなし。
後日、遺族等の指摘を受け、遺族が撮影した映像をもとに、1年以上経ってから議事録を作成。

⑦資料Ⅱの5で(1)「校長先生の誠意がない」とあるが、校長先生が現場に初めて来たのは「どうして現場に行かないのか」という批判を受けてからの**3月17日**であった。報道関係者の車で来た。

⑧資料Ⅱの末尾に「市教委では(4月)10日から6名体制で捜索」とあるが、この説明会で指摘され、翌日から始めた。しかも現場に来たのは、事情をよく知らない市内小中学校の教員等であった。

大川小学校保護者説明会の流れ

- 17:30 打合せ (柏葉校長・富田教頭・今野事務局長・山田課長
(校長室) 加藤指導主事・菅原校長)
- 教務主任 職員玄関待機
 - 日野教頭 昇降口で報道陣対応
 - 他職員 保護者対応
- 17:45 教諭 学校着 (大沼指導主事とともに)
職員玄関より校長室へ
- 18:20 加藤指導主事 報道陣への説明 ~ 学校内へ誘導
(昇降口)
- 被害にあった子供たちの親御さん対象の被災状況説明会
→ 急きょ、先生の話を入れますが、取材は断る
先生は 治療に専念するために学校を休む
 - 「頭撮り」は認めるが、事後の内容説明はない
→ 先生の聞き取りは終わってるが、関係した子供たちは気持が落ちついた時期に話を聞き、被災状況が把握できた時点で記者会見等を考えている。時期は2週間後か
- 18:25 ○ 富田教頭 保護者へ案内
- * 本日の趣旨
主に被害にあった子供たちの親御さん対象の被災状況説明会
 - * 報道陣の説明 頭撮りのみ
- 18:30 開会 進行 富田教頭
- 1 事務局長あいさつ (山田課長)
* 報道陣退去 (加藤指導主事・日野教頭等対応)
 - 2 校長あいさつ
* 加藤指導主事 先生について ~ 大沼指導主事へ連絡
* 大沼指導主事が先生誘導
 - 3 先生説明
* 大沼指導主事 先生と退場
 - 4 質疑
- 19:45 閉会
*遅くても 19:45までには閉会

石巻市立大川小学校保護者説明会報告状況

石巻市教育委員会

1 児童・教職員の状況(4月9日現在)

	児童							教職員
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
在籍	14	20	20	18	15	21	108	13
生存	9	3	3	5	9	5	34	3
不明	1	2	3	1	0	3	10	1
死亡	4	15	14	12	6	13	64	9

2 当日の流れ

(1)被災した児童の保護者を対象とした説明会

(報道陣は、説明のみで会場に入れない対応)

(2)内容

- 教育委員会挨拶(今野事務局長)
- 校長によるこれまでの説明(柏葉校長)
- 当日の被災状況の報告(教諭)
- 質疑

3 被災状況の概要

平成23年3月11日(金)午後2時46分頃、東北地方太平洋沖地震発生により大川小学校教員は、児童に校庭への避難を指示し、誘導点呼を行った。

その後、迎えに来た保護者に引き渡し下校を行っている途中、津波被害の恐れがあったため、その場にいた地域住民と教頭ら職員が相談し、高台になっている北上大橋傍の三角地帯へ避難することとした。近隣の山は、地震により倒木の危険があるため、そして校舎体育館は余震による落下物の危険性があるため、避難場所として適さないと判断した。

目的地への移動中に津波が来て、多くの児童と教職員が津波に巻き込まれた。

4 教育委員会や石巻市への要望

- (1) 不明が10人いる、最後の1人まで探してほしい。教育委員会で協力してほしい。重機が無いので捜索ができない。重機で捜索をこれからお願いしたい
- (2) 他の町や他県で火葬してもらっている実態である。いまだに火葬が出来ない子どもがいるので、石巻市として児童を優先して火葬してほしい。
- (3) 合同葬を進めたいので協力をお願いしたい。

5 学校への要望・感想

- (1) 校長先生の誠意がない。本当に各家庭を歩いているのか。
- (2) どうして、地震から30分もあったのに、避難できなかったのか。
- (3) 学校は安全であると信じていたのに、どうしてこのようなことになったのか。
- (4) 遠藤先生が説明に来ていただいて良かった。

*市教委では、10日(日)から6名体制で捜索している。